

にこまかく動かしながら徐々に上昇させて行く。

育てる 「愛」の手まね、即ち左手五指を彎曲させ掌を下向け、その手甲の上を右手掌で愛撫させるを運動をそのまま続けながら徐々に両手の位置を上へあげて行く。愛撫して成長させて行くこと。

卒業 両手で証書を持つ心持ちで眼の上辺りに頂く身振。

卒倒 眩い——倒れる。

猜む 「嫉妬」と同じ手まね。

その上に 「更に」「一層」と同じ。

その前(時間) 五指の指頭を前方にさし掌を右側にした左手に向って、五指の指頭を左にさし掌を上向けた右手を接近させて行って左手掌に着くばかりになってその右手の五指を曲げて、右へ引き戻す。「その時間」は左手で表わし、「前」は右手で表わす心得。

蕎麦 褐色(茶色)——うどん。

傍 「近い」の手まねを両手手首を左胸脇にびったりとつけてする。

祖父 父の父として表わす。先づ父の手まねをして、その親指を左の手の人差指にて軽くなで降して(頬を人差指でなで降す肉親を意味するのになぞらえて)その手の親指(男性)を右の親指(父)より高い目にさし上げる。

母方の祖父の場合、この要領で母の父とすればよい。母の小指を左の人差指でなで降し、母(小指)

祖母 父の母として表わす。父の手まねをして、その親指を左の手の人差指でなで降して、その手の小指(女性)を右の親指より高い目にさし上げる。

母方の祖母は、母の母とすればよい。

祖父 父方の場合父の両親(親指の父と

小指の母を同時に」とすればよい。母方の場合、母の両親。

また、父母の両親を表わす時もある。即ち、父母を表わし、折り曲げられた他の三指の上を左の人差指でなで降し、その手で両親を表わす。

○曾祖父母、父母の父母のその父母と三重の手まねをする。即ち系図を逆に上へ描き表わす心得。

空 「青い」の手まねをして右人差指で天をさす。

それから (イ) その後の意味の場合。未来 (五指の指頭を上になしし掌を前向けた右手を肩の辺りから前方へ押し出す) で表わせばよい。(ロ) として、それからの場合。左手の掌の上に右手の掌を叩き降して (事の完了) 一時の流れ。

算盤 「会計」と同じ手まね。

損 左右両手で夫々「金銭」を表わした人差指と親指でつくった輪を胸の前で開いて (五指を開く) 前へ物を捨てるようにする。

夕

田 左腕を前にさし伸ばし、手首のところを曲げて、五指の指頭を上になしし掌を内側にし、その腕の関節に、五指の指頭を左になしし掌を内側にした右手をのせてから、右へ引いて行く、左手の掌を田の境として、右手を右へ引くのは、田を区切った畔を意味するものか。

鯛 赤一魚。(黒鯛もあるが一般概念として)

退学 「学校」の手まねをして、左手掌上に右手の集め合わせた五指の指頭をつけ、手前へ引き離す。学籍簿から氏名を引き去ること